

インドで建機向け高圧ゴムホースの合併事業を開始

～ホース生産から組み立てまでの一貫体制を日系企業で初めて構築～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、インドの大手ホースメーカー、Imperial Auto Industries Limited（以下、IAI社）との間で、建設機械向け高圧ゴムホースの合併事業を開始することを決定しましたので、お知らせいたします。

高圧ゴムホースの生産から組み立てまでを一貫してインドで行うのは、日系企業では初めてとなります。

経済成長が続くインドでは、道路や港湾、電力などのインフラ整備が急速に進んでおり、土木・建設工事に必要な建設機械の需要が増大しています。日系建機メーカーは、市場拡大をにらんでインドでの生産体制を増強させており、部材の現地供給の要請を強めています。当社は、こうした動きに対応するため、油圧ショベルなど建機向け高圧ゴムホースについて、現地メーカーと合併事業を開始することといたしました。

合併事業を行う会社は、当社が2011年9月に設立した合併準備会社に2013年2月までに追加出資するとともに、IAI社が資本参加します。合併会社は、インド北西部の首都デリー近郊にあるニムラナ工業団地（ラジャスタン州）にホース生産工場を新設するほか、南部のバンガロール（カルナタカ州）と北東部のカラグプール（西ベンガル州）に製品の組み立て拠点を設置します。これにより、インド全土に点在する建機メーカーの生産拠点への迅速な製品供給を可能にするほか、組み立て工程を含めた現地一貫生産体制を構築することで、迅速で安定した製品供給など顧客満足度向上につなげる狙いです。

今回の合併により、当社の産業用ホース事業の海外拠点は、2004年設立の中国、2013年稼働開始予定のロシアに続く3カ所目となります。当社は、インドに自動車用品の拠点を所有しており、北西部のハリアナ州にホース、南部カルナタカ州に防振ゴムの拠点があります。さらに、北西部デリー近郊のラジャスタン州でも2013年11月に防振ゴムの新工場が稼働開始予定です。今後は、自動車以外の事業につきましても、インド市場への参入を積極的に進めてまいります。

<合併会社の概要>

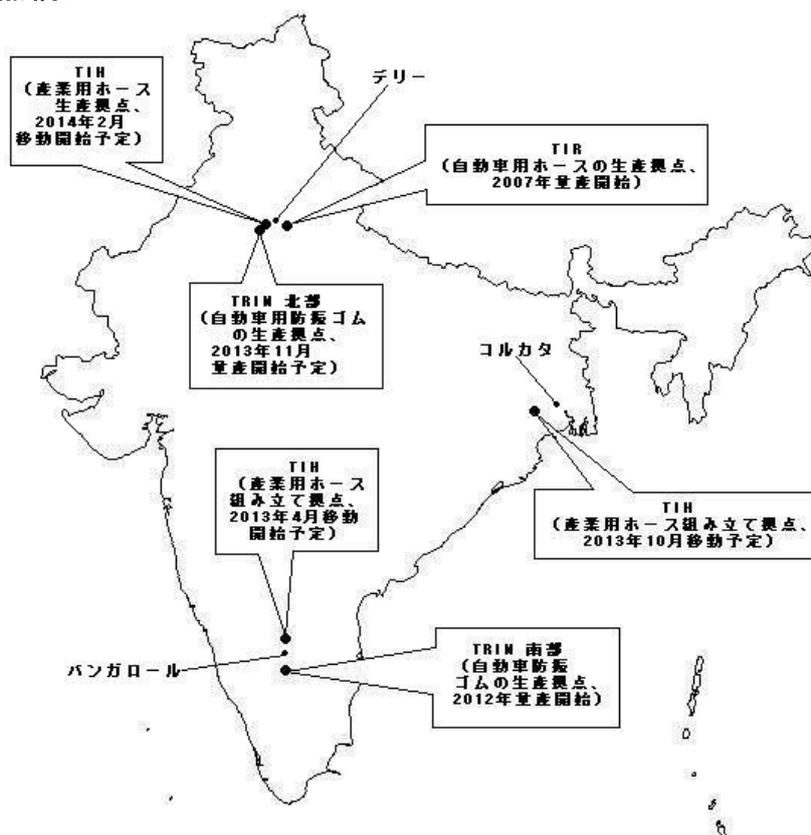
会社名 : Tokai Imperial hydraulics India Private Limited (仮称)
 所在地 : インド ラジャスタン州アルワル県 ニムラナ工業団地 (本社)
 資本金 : 1,600 百万ルピー (約 2,400 百万円※)
 出資比率 : 東海ゴム工業株式会社 81.7%
 TRI ホース販売株式会社 0.1%
 Imperial Auto Industries Limited 18.2%
 事業内容 : 建設機械向け高圧ゴムホースの製造販売
 代表者 : 社長 酒井洋和
 (東海ゴム工業 産業資材事業本部 産業用ホース事業部 事業企画室長)
 従業員数 : 約 340 名 (2018 年度計画)
 生産拠点 : バンガロール (2013 年 4 月稼働)
 カラグプール (2013 年 10 月稼働)
 ニムラナ (2014 年 2 月稼働、敷地 60,000 m²、建屋 12,000 m²)
 設備投資 : 約 1,500 百万ルピー (約 2,250 百万円※)
 売上高 : 約 1,550 百万ルピー (約 2,300 百万円※、2018 年度計画)

<IAI 社の概要>

資本金 : 697 百万ルピー (1,045 百万円※)
 事業内容 : 自動車用・産業用ホースの組み立て等
 従業員数 : 約 6,000 名
 売上高 : 約 9,370 百万ルピー (約 14,055 百万円※、2011 年度)
 備考 : 2005 年 11 月に当社との合併で自動車用ホース製造販売会社、
 Tokai Imperial Rubber India Private Limited を設立

(※) 1ルピー=1.5円 で換算

<当社のインド拠点網>



以上